

登録コード	L2964000	開講年度	2026	
担当教員	KIM JUNG OK	副担当		
授業科目	東洋文化事情 I			
英文授業名	East Asian Culture I			
授業タイトル				
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 月曜・3時限
講義室	人文第5講義室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ			
	【2022年度以前加修対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力		⇔	様々な韓国の社会及び文化を深く理解ようになる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降加修対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	韓国文化を理解し、その知識をもとに日本はどうか、当たり前だと思っている日本の文化を振り返る機会にする。
	【2023年度以降加修対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】		⇔	韓国文化を理解し、その知識をもとに日本はどうか、当たり前だと思っている日本の文化を振り返る機会にする。
	【2023年度以降加修対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	韓国文化を理解し、その知識をもとに日本はどうか、当たり前だと思っている日本の文化を振り返る機会にする。
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	ビデオ教材や資料を用いて様々な韓国・政治・経済・社会・文化を紹介します。 取り上げたトピックに関連して、グループでのディスカッションを行います。 授業後に、ディスカッションで得た洞察や学びをもとに感想文を提出してもらいます。 この授業を通じて、学生は韓国の様々な事について幅広く知識を得、それをグループディスカッションや感想文を通じて深めることができます。			
授業計画	1) 授業ガイダンス 2) 韓国歴史を日韓の年表などで確認（前半） 3) 韓国歴史を日韓の年表などで確認（後半） ビデオ鑑賞もある 4) 現在の韓国政治（民主化運動・徴兵制など） 5) 現在の韓国経済 6) 現在の韓国（社会の変化・若者意識） 7) ハングルの仕組み・読み方 8) 日韓のことわざ比較・日韓音楽比較 9) 韓国の伝統文化・体験も含む 10) 韓国映画鑑賞前半 11) 韓国映画鑑賞後半 12) 韓国の食文化 13) 韓国を旅しよう（目的別作成） 14) 最新のビデオを鑑賞しディスカッション 15) 事前に聞き取った質問の答え・授業アンケート（最後の15分間実施） 16) 期末試験			
成績評価の方法	感想シート：3割（毎回の感想） 課題：3割 締切：11月30日 テーマは、授業時に発表する 期末試験：4割			
成績評価の基準	1) 出題（授業）のテーマに沿った内容であり、 2) テーマの背景が説明出来ており、 3) インターネットのみによる資料ではなく（課題やレポートの場合）、 4) 自分の見解を提示出来ており、 5) 教員を感心させるレベル 1)～5)の5項を満たしていれば「卓越している」＜秀＞、4項目までは「かなり上にある」＜優＞、3項目までは「やや上にある」＜良＞、2項目までは「水準にある」＜可＞			
事前事後学習の内容	しっかり予習してから授業に臨むこと。			
履修上の注意	積極的に参加することを望む。 韓国関連の情報を収集するなど、自主学習をすること。 *遅刻と認定する時間：授業開始10分後、欠席と認定する時間：授業開始30分後			
質問、相談への対応	seals42@hotmail.com			
教科書	必要に応じてプリントを配る			

参考書	授業時に紹介します。
-----	------------